

水稲(上三川町)

番号①

疎植・健苗のイネづくり

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

前作終了後発酵肥料 150kg/10a
米ぬか屑大豆ペレット(0~80kg/10a)施用。(有機栽培を繰り返すうち施肥量は減少する。)

○病害虫防除

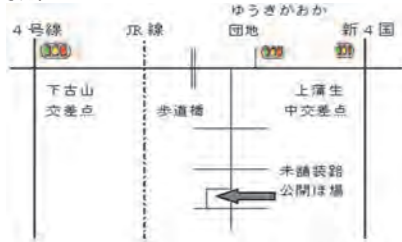
健苗・疎植、適量施肥及び畦畔管理によって栽培環境の健全化と豊かな生態系をつくり病害虫の発生を抑える。

○雑草防除

移植1か月前の代かき(雑草の種子を表層に移動し、湿水して発芽を促す。)
その後、コナギやオモダカなどの発生を待ち、移植3日前に2回目の代かきを行う。(オモダカ・クログワイを除去。コナギは土中に練り込む。)

○氏名 川俣 文人
○ほ場所在地 上三川町大山484-2

宇都宮から国道4号を南下し、下古山交差点を左折。JRのアンダーパスをくぐる。(新4号の場合は上蒲生中交差点を右折)ゆうがお歩道橋の路地を右折。(新4号の場合は左折)田んぼ道を300mほど直進し、3本目の十字路。



野菜類(日光市)

番号②

自家製堆肥を用いた土づくりにより土の力を最大限に発揮した、健康な農作物づくり

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

元肥:自家製堆肥(自家製堆肥の内容)
おから、落ち葉、もみから、米ぬか
公設市場から仕入れた魚及び野菜の残さを処理したもの
追肥:なたね油かす

○病害虫防除

適期栽培により病害の発生を抑える
雨除け栽培、プール育苗

○雑草防除

手取り、管理機除草

○氏名 駒場誠一
○ほ場所在地 日光市岩崎417



水稲(市貝町)

番号③

田んぼの生きもの(ホタルやサシバ)と
いっしょに育つ美味しい米づくり

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

落ち葉と魚粕を材料にした自家製堆肥

○病害虫防除

健苗、疎植
畦畔の草刈り

○雑草防除

米ぬかペレット散布
除草機と手取り除草

○氏名 三村昭一(正直農園)
○ほ場所在地 市貝町下椎谷



だいこん(小山市)

番号④

病害虫の発生しにくい環境をつくり、
農作物を健康に育てる

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

野菜の輪作体系中への小麦+大豆導入による土壌深層への有機物供給等。
自家製堆肥(鶏ふん+粃殻+おから)のうね間表面施用による減肥。

○病害虫防除

野菜の輪作に小麦も入れた病害虫の密度低下と、特に小麦の土壌養分の均衡・土壌物理性改善効果による生理障害も含めた発生抑制。適期播種による発生回避。

○雑草防除

秋冬どりで発生量、生育量とも少なく無防除。

○氏名 大橋秀充
○ほ場所在地 小山市大字栗宮1,495



水稲(矢板市)

番号⑤

紙マルチによる雑草発生抑制

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

米ぬかほかし肥料、米ぬか、豆腐粕
菜種油粕

○病害虫防除

実施せず

○雑草防除

紙マルチ(専用田植機使用)

○氏名 根本 力
○ほ場所在地 矢板市塩田



露地野菜(那須町)

番号⑥

人と環境にやさしい野菜

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

基肥:自家製米ぬかボカシ(麦、そばを含む)
貝石灰、菜種粕、モミ殻くん炭、モミ殻草木灰
追肥:自家製米ぬかボカシ(麦、そばを含む)

○病害虫防除

疎植栽培、コンパニオンプランツの利用

○雑草防除

刈り払い

○氏名 成澤増雄
○ほ場所在地 那須町伊藤台3481



露地野菜(佐野市)

番号⑦

疎植による少量多品目生産

有機農業の栽培技術

○土づくり・施肥

米ぬか、発酵鶏ふん、雑草のすき込み
施用時期:1~2月、作付け2週間前

○病害虫防除

疎植で病害虫発生を抑制
手で取る
べたがけ資材(葉物のみ)

○雑草防除

手取り
敷きわら
三角ぐわでの中耕
黒マルチ(果菜類のみ)

○氏名 早瀬 洋
○ほ場所在地 佐野市飛駒町1645番地

